

記入例：生活単元学習 単元評価シート 案＜個人用＞
 単元名「〇〇学級のクッキー屋さんをやろう」 4年 氏名 K・K

活 動	ね ら い	評 価
＜単元初期＞ 「みんなで、クッキーをつくれるようになるう！」	教科：できたクッキーを数える(算数)	10 個入れるといっぱいになる箱へクッキーを入れながら、10 のまとまりを意識してクッキーを数えることができた。
	手順表を読みながら確認していく（国語）	始めは教師と一緒に手順表を読みながら確認をしていたが、慣れてくると一人で手順表を読むことができた。
	人：「どうぞ」と言って次の友達に生地を渡す	自分の分担、型ぬきができると、一つずつ「どうぞ」と大きな声で B さんへクッキーを手渡しすることができた。
	自立活動： 身体の動きー（5） 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること	クッキー生地を友達から受け取り、手で押さえて、型ぬきを真っ直ぐ生地におろして、きれいに型崩れしない生地の型ぬきの作業がスムーズにできた。
「友達や先生、お家の人にクッキー試食してもらいおいしいクッキーにしよう！」	教科：お店屋さんに向けた試食依頼の手紙を書く（国語）	原学級の友達や先生方に、店での販売に向けたクッキーの試食のお願いの言葉を教師と一緒に考え、原稿を書いて練習をして、発表することができた。
	人：「味はどうですか」とクッキーの味を尋ねる	クッキーを食べてもらった原学級の友達や先生方に「味はどうですか」と声を掛けながらクッキーに関するアンケートを配ることができた。
	コミュニケーションー（5） 状況に応じたコミュニケーションに関すること	「私たちの作ったクッキーを食べてください」「ありがとうございます」など原学級の友達や先生方に、声を掛けたり、言葉を返したりすることができた。
「クッキー屋さんの準備をしよう！」	教科：折り紙でお花を作りお店の看板を装飾する（図工）	図書館で折り紙の本を探して、その中からアジサイの花を見つけ、教師と一緒におり方を覚えて、全部で 30 個作りお店の看板に貼って飾ることができた。
	お店の広告を書く（国語）	クッキーの絵とみんなで決めた値段を広告に書き、教師と一緒に印刷をしてお店の準備ができた。
	クッキーを数えて同数袋に入れる（算数）	クッキーを数えながら、シートの印の上に 8 個並べて、同じ数ずつクッキーを袋詰めできた。
	人：A さんと一緒にお店の看板にお花の飾りを取り付ける	自分で作ったアジサイの花の折り紙飾りを A さんと看板のどこに付ければバランスが良いか二人で相談しながら飾ることができた。
	身体の動きー（5） 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること	折り紙の花飾り作りやクッキーの袋詰めは、始めは教師と一緒に行っていたが、自分の力だけでできるようになると、時間になると自分だけで作業ができた。
＜単元終末＞ 「学校や〇〇公園でクッキー屋さんを開こう！」	教科：代金を受け取りお釣りを計算して正しい金額を渡す（算数）	複数買ってもらったクッキーの合計の代金、電卓を操作して正しく計算できた。その合計金額から受け取った代金を引く操作を覚えてお釣りを計算できるようになり、スムーズにお釣りをお客さんに渡すことができるようになった。
	人：「いらっしやい」「ありがとうございます」「〇円のおつりです」とお客さんに言える。	「いらっしやい」「〇円のおつりです」と接客に必要な言葉を練習して覚え、実際にお店でお客さんへ掛けることができた。お釣りは、正しい金額を声に出して言うてからお客さんに渡すことができた。
	コミュニケーションー（5） 状況に応じたコミュニケーションに関すること	お客さんに「どのクッキーがお勧め」と尋ねられて、「チョコクッキーは私が作ったからおいしいです」と返答して、お客さへの対応ができた。